

令和7年度「就職先からの卒業生に対する評価
(卒業生に関するアンケート)」集計結果報告書
(令和5年度卒業生対象)

 高 松 大 学

高松大学大学院

 高松短期大学

目 次

1. 実施要項	1
2. 集計結果 経営学部	
(1) 集計結果 概要	3
(2) 集計結果 グラフ及びデータ	5
3. 集計結果 発達科学部（企業等）	
(1) 集計結果 概要	9
(2) 集計結果 グラフ及びデータ	11
4. 集計結果 発達科学部（教育・保育等）	
(1) 集計結果 概要	15
(2) 集計結果 グラフ及びデータ	17
5. 集計結果 大学院経営学研究科	
(1) 集計結果 概要	23
6. 集計結果 保育学科	
(1) 集計結果 概要	25
(2) 集計結果 グラフ及びデータ	27
7. 集計結果 秘書科	
(1) 集計結果 概要	33
(2) 集計結果 グラフ及びデータ	35
8. アンケート用紙	
(1) 高松大学・高松短期大学卒業生に関するアンケート(企業等)	39
(2) 高松大学・高松短期大学卒業生に関するアンケート(教育・保育等)	40

令和7年度 就職先からの卒業生に対する調査（実施要項）

1. 目的

本学の卒業生を採用して頂いている企業・官公庁・病院・小学校・幼稚園・保育所・認定こども園などで、本学の卒業生が職場でどのように評価されているかを知り、また、本学の教育に対する忌憚のないご意見ご要望をうかがい、本学の教育の改善に役立てる。

2. 対象

令和5年度卒業生の就職先（大学・短大・大学院）

- * 卒業後1年を経過した者に関するアンケート
- * 発達科学部卒業生の就職先は、「企業等」と「教育・保育等」にアンケート用紙を分ける

3. 実施日・回収期日

実施日：令和7年7月1日

回収期日：令和7年7月末まで

4. 実施方法

令和5年度卒業生の就職先へ対し、業種ごとに異なるアンケート用紙を郵送し、インターネット・FAXのいずれかで回答する。

5. アンケート項目

別紙アンケート用紙参照

6. データ集計

学部・学科ごとに集計する。

7. 発行形式等

学内公表：教職員にはデスクネッツ（文書管理）にて閲覧できるようにする。

学外公表：公式ホームページにて閲覧できるようにする。

8. 発行時期

令和7年9月30日

9. 担当

各学部・学科、学生支援部キャリア支援課

令和7年度 就職先からの卒業生に対する評価（卒業生に関するアンケート） 経営学部 集計結果の概要（令和5年度卒業生対象）

依頼数 72（昨年 62）に対し、協力数は 42（昨年 32）で回収率は 58.3%（昨年 51.6%）であった。回答に協力いただいた企業の業種、卒業生の職種・人数・退職者数（6ヵ月以内）についてはⅡ・Ⅲのとおりである。

Ⅳ 令和6年4月にご採用いただいた本学卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想をお伺いします。

Ⅳ-1. 本学の卒業生は全体として、貴社・貴院の人材ニーズや期待にえていますか。

「十分応えている」「どちらかといえば応えている」の割合が合わせて 80.9%（昨年 81.2%）であった。「個人間のばらつきがあり何ともいえない」が 4.8%（昨年 18.8%）、「やや応えていない」「応えていない」は合わせて 11.9%（昨年 0%）であった。

「十分応えている」「どちらかといえば応えている」の割合は昨年調査よりも 0.3%減少しているが、コンスタントに 80%を超えていることや協力数が増えていることを考慮すると、本学出身者が企業の一員としてしっかりと働いていると思われる。しかし、「やや応えていない」「応えていない」が 0%から 11.9%（5社）に上昇したことは問題であると考えている。どのような点で期待に応えていないのかを精査する必要があるが、建学の精神や経営学部が目標としている育成方針にのっとった教育にさらに力を入れるとともに、「働く」や「社会に出る」という基本的なことを様々な機会を捉えて考えさせていく必要がある。

Ⅳ-2. 本学の卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として高い」「どちらかといえば高い」の割合が合わせて 69.0%（昨年 68.8%）であった。「個人間のばらつきがあり何ともいえない」が 16.7%（昨年 28.1%）、「どちらかというやや低い」「全体として低い」は合わせて 11.9%（昨年 0%）であった。

多様な学生が入学・卒業している状況の中、「全体として高い」「どちらかといえば高い」の割合が前年に引き続き 70%を割っている。また、「個人間のばらつきがあり何ともいえない」と「どちらかというやや低い」という評価を合わせた割合が 30%弱と大きな比率となっている。企業側が採用時に「性格・人柄」や「コミュニケーション能力」、「意欲・熱意」といういわゆる社会人基礎力を重視している点に鑑み、学生の人格形成を進めるとともに、物事に関心を持つ、目線を高く持つ、専門知識を用いた問題解決能力を高めるなど、ゼミ教育などを通じて学生一人ひとりと深く関わり総合的な能力や意識を向上させることが必要だと考える。

Ⅳ-3. 本学の企業様への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として熱心」「どちらかといえば熱心」の割合が合わせて 45.2%（昨年 59.4%）であった。「何ともいえない、わからない」が 52.4%（昨年 40.6%）、「あまり熱心でない」という回答はなく、「全体として熱心でない」は 2.4%（昨年 0%）であった。

キャリア支援課による学生指導・サポートや経営学部の各教員による学生へのきめ細かな指導、キャリアカウンセラーによる個別指導を行なっているにもかかわらず、「全体として熱心」「どちらかといえば熱心」の割合が大幅に減少している。また、「何ともいえない、わからない」が 50%を超えている。いずれにしても、課や学部による指導やサポートをさらに充実する必要がある。また、タイトな労働市場の状況において安易に学生が就職先を選ぶことがないように、個々の学生の情報について密度高く共有するなど、課と学部との連携を一層高める必要がある。

Ⅳ-4. 今後、本学の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

「今後も積極的に求人・採用していきたい」「他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく」の割合が合わせて 80.9%（昨年 93.7%）であった。「採用は人物本位であり、何ともいえない」

が14.3%（昨年6.3%）、「求人・採用をしていく予定はあまりない」「求人・採用をしていく予定は全くない」という回答は合わせて4.8%（昨年0%）であった。

「採用は人物本位であり、何ともいえない」が増加していることは、大学への評価は一定程度あるものの学生一人ひとりを見ると期待値に達していない場合があるとも読み取れる。もしそうであるならば、学生と多くの時間を共有する学部で行なわれる少人数でのゼミナール、実学を中心とする経営学部ならではの学びを生かして実践するインターンシップなどで学生の個性や特性を把握しきめ細かな就職活動サポートや指導に繋げる必要があると考える。

V. ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

「性格・人柄」（33件）、「コミュニケーション能力」（32件）、「意欲・熱意」（30件）の回答が多く見られた。（昨年は「コミュニケーション能力」（29件）、「性格・人柄」（25件）、「意欲・熱意」（20件）の回答が多く見られた）

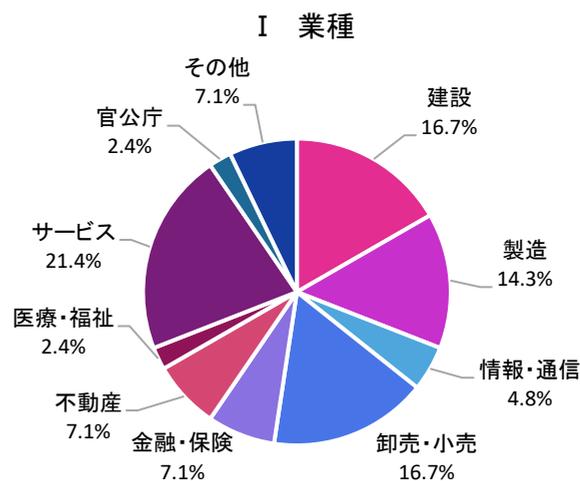
一昨年、昨年同様、「性格・人柄」、「コミュニケーション能力」、「意欲・熱意」の回答が多く、社会人として求められる基礎的な力を重視する状況に変わりはない。本学のような一教員に対する学生数が少ない大学だからこそ、「性格・人柄」、「コミュニケーション能力」、「意欲・熱意」という人間性の部分を育成できるという強みを意識し、ゼミ教育、キャリア教育すべてを通して学生の育成に係り、キャリア支援課と経営学部教員が連携して学生一人ひとりの指導に努めていくことが重要である。

(2) 集計結果 グラフ及びデータ (経営学部)

調査対象	令和5年度高松大学経営学部卒業生就職先 72社	
実施時期	令和7年6月・7月	
調査方法	郵送による質問紙法	
回収率	依頼数	72社
	協力数	42社
回収率		58.3%

II 貴社・貴院の業種についてお答えください。

	業 種	件数
1	建設	7
2	製造	6
3	電気・ガス・水道	0
4	情報・通信	2
5	運輸	0
6	卸売・小売	7
7	金融・保険	3
8	不動産	3
9	飲食・宿泊	0
10	医療・福祉	1
11	サービス	9
12	官公庁	1
13	その他	3

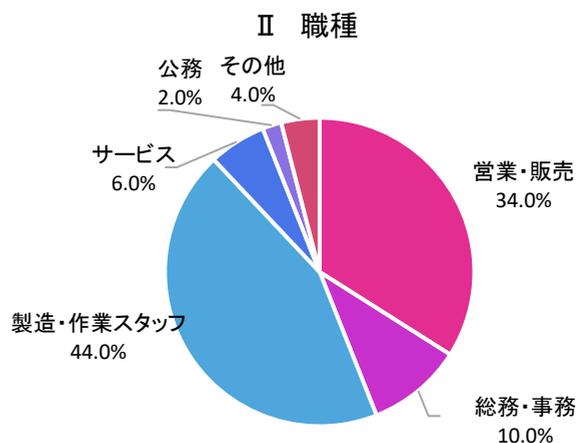


【その他】農業協同組合、人材サービス、建設コンサルタント

III 令和6年4月にご採用いただいた本学卒業生の職種別の人数についてお答えください。

職 種	件数	人数	内留学生	内退職者(6ヵ月以内)
1 営業・販売	17	17	1	2
2 総務・事務	4	5		0
3 製造・作業スタッフ	17	22	3	2
4 通訳・貿易	0	0		0
5 サービス	3	3		0
6 公務	1	1		0
7 医療関係	0	0		0
8 その他	2	2		0

【その他】
農産物栽培指導
介護職

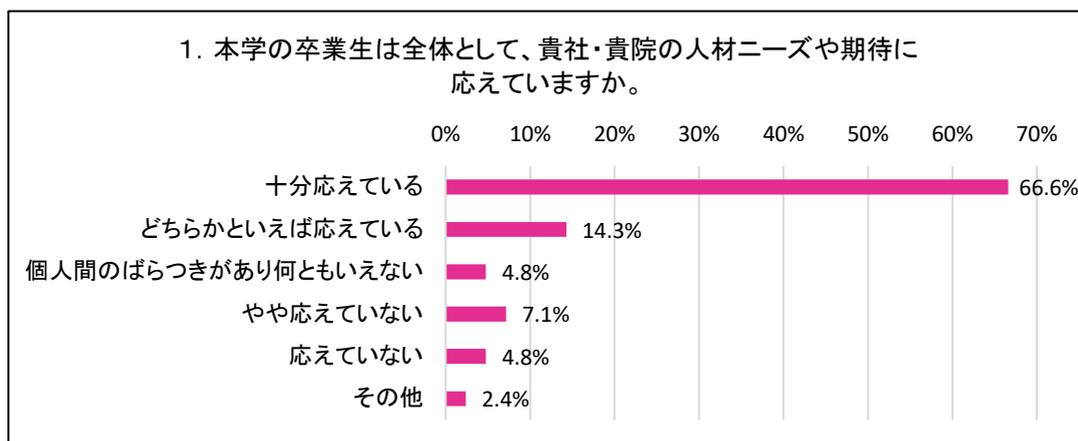


IV 令和6年4月にご採用いただいた本学卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想をお伺いします。

1. 本学の卒業生は全体として、貴社・貴院の人材ニーズや期待に応えていますか。

項目	件数
1 十分応えている	28
2 どちらかといえば応えている	6
3 個人間のばらつきがあり何ともいえない	2
4 やや応えていない	3
5 応えていない	2
6 その他	1

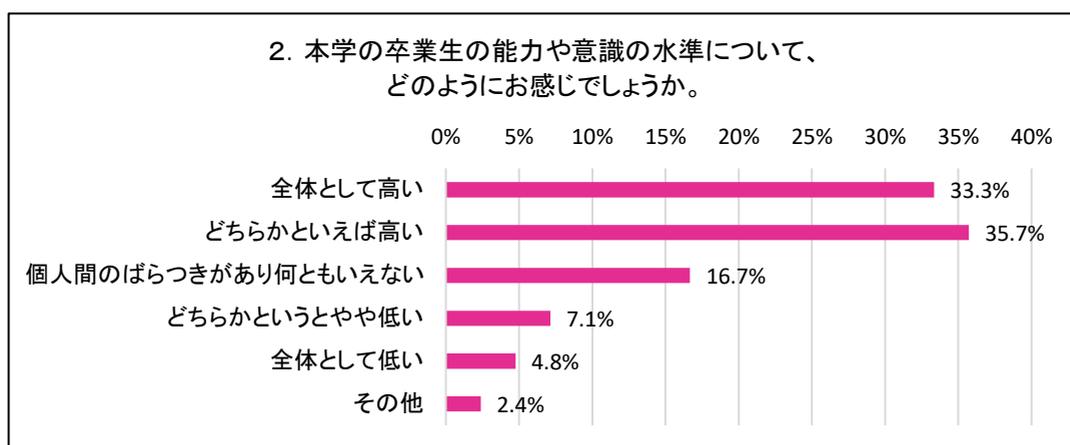
【その他】
未記入



2. 本学の卒業生の能力や意識の水準について、どのように感じでしょうか。

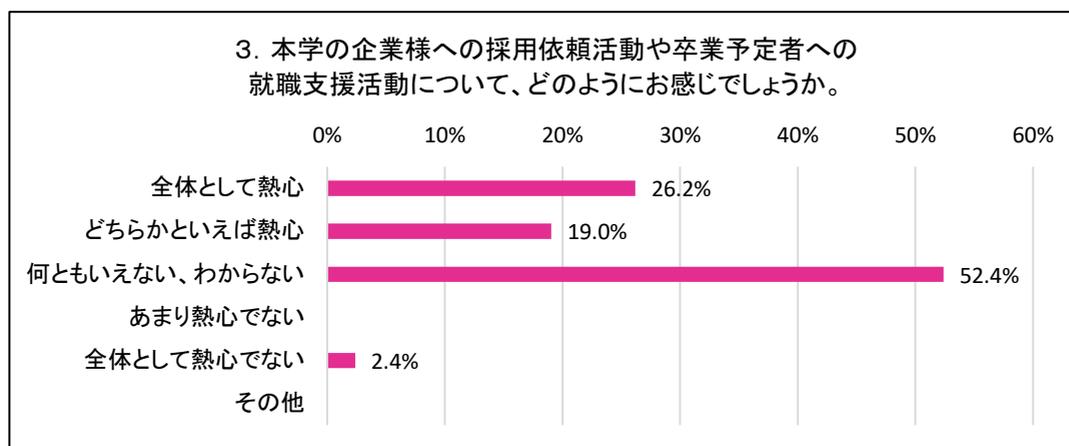
項目	件数
1 全体として高い	14
2 どちらかといえば高い	15
3 個人間のばらつきがあり何ともいえない	7
4 どちらかというやや低い	3
5 全体として低い	2
6 その他	1

【その他】
未記入



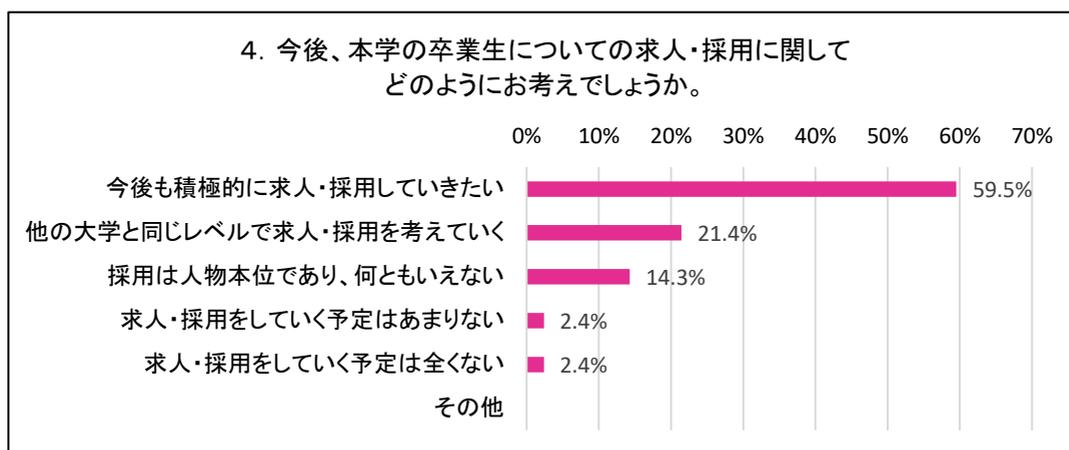
3. 本学の企業様への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。

	項目	件数
1	全体として熱心	11
2	どちらかといえば熱心	8
3	何ともいえない、わからない	22
4	あまり熱心でない	0
5	全体として熱心でない	1
6	その他	0



4. 今後、本学の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

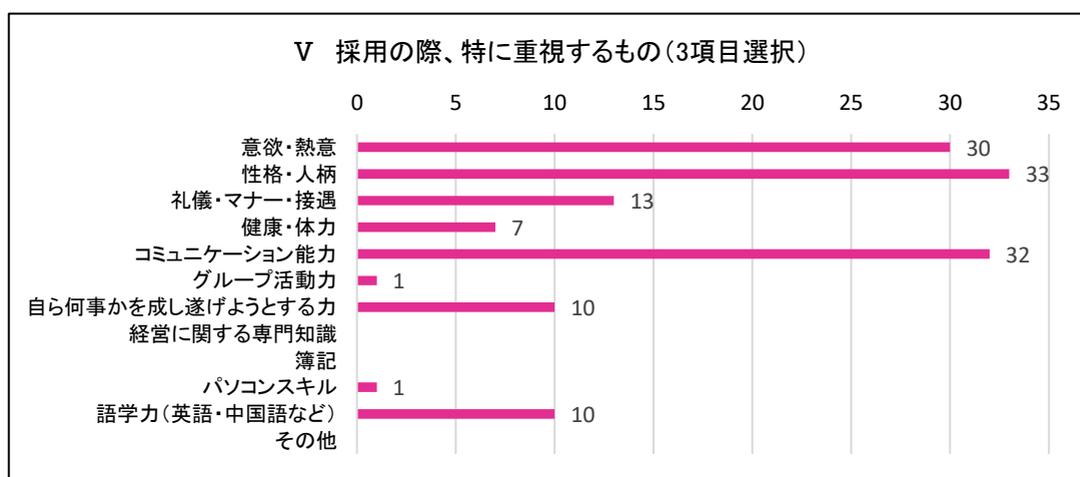
	項目	件数
1	今後も積極的に求人・採用していきたい	25
2	他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく	9
3	採用は人物本位であり、何ともいえない	6
4	求人・採用をしていく予定はあまりない	1
5	求人・採用をしていく予定は全くない	1
6	その他	0



V ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

項目	件数
1 意欲・熱意	30
2 性格・人柄	33
3 礼儀・マナー・接遇	13
4 健康・体力	7
5 コミュニケーション能力	32
6 グループ活動力	1
7 自ら何事かを成し遂げようとする力	10
8 経営に関する専門知識	0
9 簿記	0
6 パソコンスキル	1
7 語学力(英語・中国語など)	10
8 その他	0

【その他】



VI 本学卒業生をご採用いただいたお立場から、本学の教育について、改善すべきこと、良いと思われることなど、どんなことでもお気づきのことがございましたら、遠慮なくご記入ください。

個人情報等を含む内容のため非公表

令和7年度 就職先からの卒業生に対する評価（卒業生に関するアンケート） 発達科学部（企業等） 集計結果の概要（令和5年度卒業生対象）

依頼数 12（昨年 11）に対し、協力数は 7（昨年 7）で回収率は 58.3%（昨年 63.6%）であった。回答に協力いただいた企業の業種、卒業生の職種・人数・退職者数（6 ヶ月以内）についてはⅡ・Ⅲのとおりである。

Ⅳ 令和6年4月にご採用いただいた本学卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想をお伺いします。

Ⅳ-1. 本学の卒業生は全体として、貴社・貴院の人材ニーズや期待にえていますか。

「十分応えている」の回答が 100%を占めている。（昨年は「十分応えている」「どちらかといえば応えている」の割合が合わせて 42.9%、「個人間のばらつきがあり何ともいえない」が 42.8%、「応えていない」という回答は 14.3%（1 件）であった）

就職して約 1 年 2 ヶ月の卒業生に対する評価であるが、「十分応えている」が 100%とこれまでにない高い評価を頂いた。企業等から卒業生に求められるものが、採用当時に比べ厳しくなる中、大変有難い評価であるが、今後ともその期待に十分に答えられるよう、在学時からコミュニケーション力の育成、基礎的なマナーの習得、学習面では基礎・基本の習得の徹底など、社会人に必要な資質の向上に一層尽力していく。

Ⅳ-2. 本学の卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として高い」「どちらかといえば高い」の割合が 85.8%（昨年は「全体として高い」の回答はなく、「どちらかといえば高い」の割合が 28.6%）、「個人間のばらつきがあり何ともいえない」が 14.2%（昨年 42.8%）であった。「どちらかというやや低い」「全体として低い」という回答はなかった。（昨年は「どちらかというやや低い」は 28.6%、「全体として低い」という回答はなかった）

昨年度の「全体として高い」の回答は 0 社、「どちらかといえば高い」の企業は約 3 割から、今年度は回答をいただいた 7 社のうち「全体として高い」が 3 社、「どちらかと言えば高い」が 3 社と高い評価を頂いた。今後とも企業の高評価が得られるよう、就職を希望する学生の進路意識の向上と就労意欲の伸長に一層尽力していく。

Ⅳ-3. 本学の企業様への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として熱心」「どちらかといえば熱心」の割合が合わせて 57.2%（昨年 42.9%）、「何ともいえない、わからない」が 42.8%（昨年同じ）であった。「あまり熱心でない」、「全体として熱心でない」の回答はなかった。（昨年は「あまり熱心でない」は、14.3%（1 件）であり、「全体として熱心でない」という回答はなかった）

「全体として熱心」「どちらかといえば熱心」と回答した企業は約 6 割で、昨年度の約 4 割をやや上回った。「あまり熱心でない」の回答は昨年度は 1 件であったが、本年度は 0 件となった。採用依頼活動に対する企業の肯定的な評価を高めるために、学部一ゼミ担当教員一キャリア支援課が効果的に連携して、企業のニーズにマッチするよう、個々の学生に照準をあてて丁寧に進路実現を図っていく。

Ⅳ-4. 今後、本学の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

「今後も積極的に求人・採用していきたい」「他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく」の割合が合わせて 100%（昨年 71.4%）を占めている。（昨年はその他「採用は人物本位であり、何ともいえない」が 28.6%であり、「求人・採用をしていく予定はあまりない」「求人・採用をし

ていく予定は全くない」という回答はなかった)

「今後も積極的に求人・採用していきたい」「他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく」と回答した企業が100%であり、昨年度の約7割から躍進し、高い評価を得ることができた。企業側に高い評価をいただくためにも、キャリア支援課が学部と企業側とのパイプ役として求める人材の育成に努め、地域貢献への寄与を確かなものとするよう一層注力していくことが大切である。

V. ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

「コミュニケーション能力」(7件)、「性格・人柄」(6件)の回答が多く見られた。(昨年は「性格・人柄」(6件)、「意欲・熱意」(5件)、「コミュニケーション能力」(4件)の回答が多く見られた)

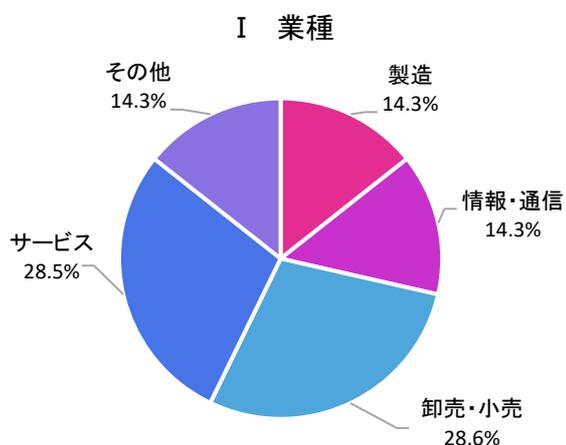
上位3項目は昨年度と同じで、企業が求めている職業人としての資質と言える。学業はもちろんのこと、課外活動や大学生活で様々な経験を積み重ね、多くの人と交流して知見を広げていくとともに、コミュニケーション力を磨き、社会性を身に付け、自己を確立していくことが大切である。

(2) 集計結果 グラフ及びデータ (発達科学部 企業等)

調査対象	令和5年度高松大学発達科学部 (企業等) 卒業生就職先		12件
実施時期	令和7年6月・7月		
調査方法	郵送による質問紙法		
回収率	依頼数	12件	
	協力数	7件	
回収率		58.3%	

II 貴社・貴院の業種についてお答えください。

	業 種	件数
1	建設	0
2	製造	1
3	電気・ガス・水道	0
4	情報・通信	1
5	運輸	0
6	卸売・小売	2
7	金融・保険	0
8	不動産	0
9	飲食・宿泊	0
10	医療・福祉	0
11	サービス	2
12	官公庁	0
13	その他	1

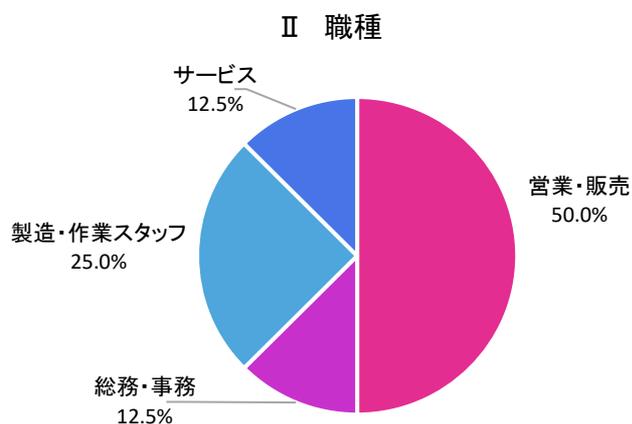


【その他】農業協同組合

III 令和6年4月にご採用いただいた本学卒業生の職種別の人数についてお答えください。

	職 種	件数	人数	内退職者(6ヵ月以内)
1	営業・販売	4	4	0
2	総務・事務	1	1	0
3	製造・作業スタッフ	2	2	0
4	通訳・貿易	0	0	0
5	サービス	1	1	0
6	公務	0	0	0
7	医療関係	0	0	0
8	その他	0	0	0

【その他】

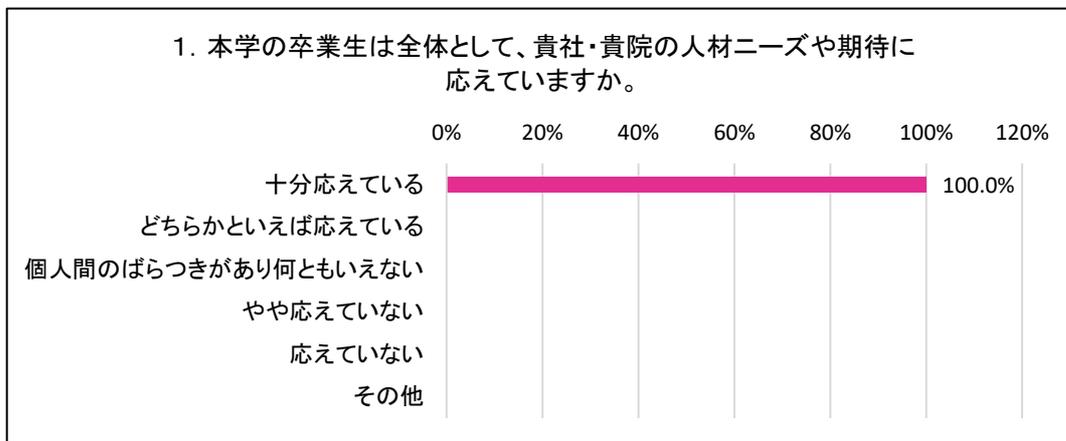


IV 令和6年4月にご採用いただいた本学卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想をお伺いします。

1. 本学の卒業生は全体として、貴社・貴院の人材ニーズや期待に応えていますか。

	項目	件数
1	十分応えている	7
2	どちらかといえば応えている	0
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	0
4	やや応えていない	0
5	応えていない	0
6	その他	0

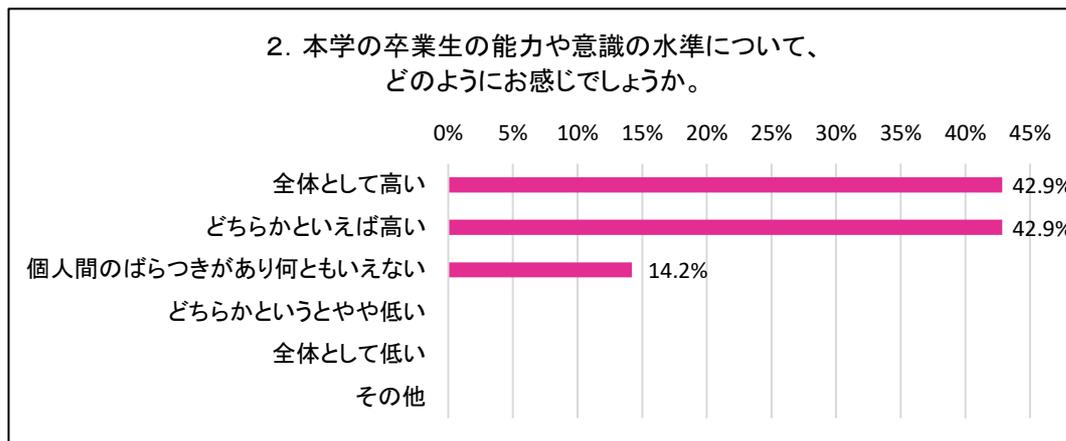
【その他】



2. 本学の卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

	項目	件数
1	全体として高い	3
2	どちらかといえば高い	3
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	1
4	どちらかというやや低い	0
5	全体として低い	0
6	その他	0

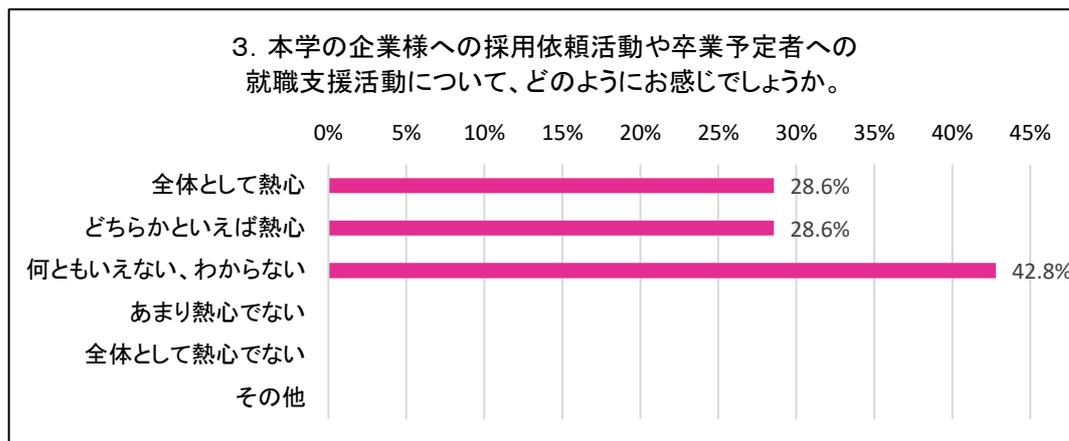
【その他】



3. 本学の企業様への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。

	項目	件数
1	全体として熱心	2
2	どちらかといえば熱心	2
3	何ともいえない、わからない	3
4	あまり熱心でない	0
5	全体として熱心でない	0
6	その他	0

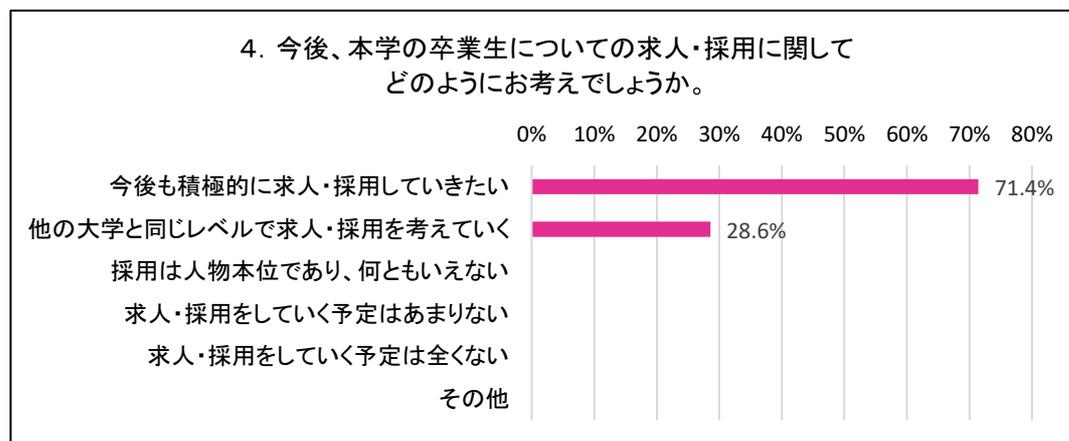
【その他】



4. 今後、本学の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

	項目	件数
1	今後も積極的に求人・採用していきたい	5
2	他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく	2
3	採用は人物本位であり、何ともいえない	0
4	求人・採用をしていく予定はあまりない	0
5	求人・採用をしていく予定は全くない	0
6	その他	0

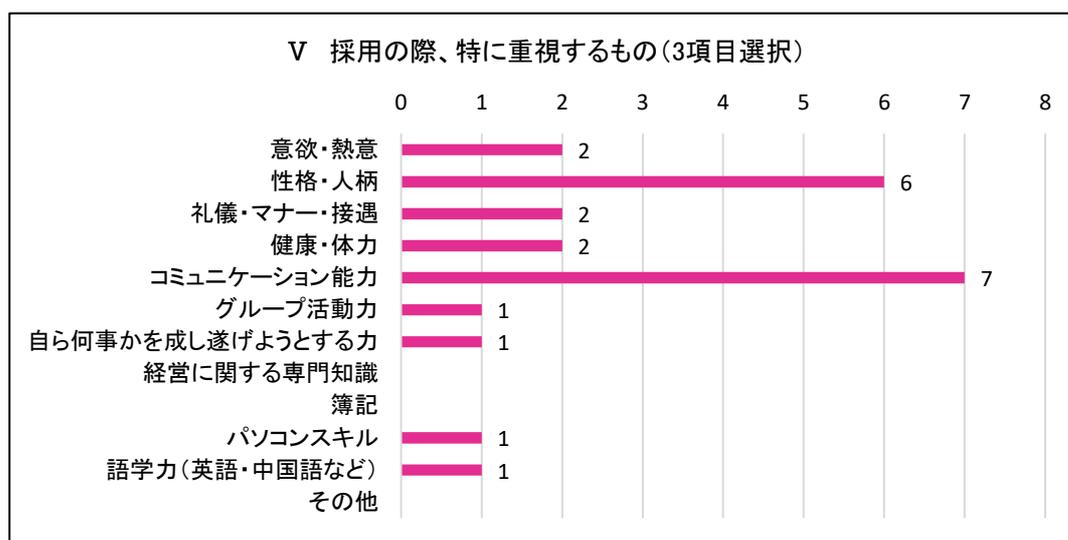
【その他】



V ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

	項目	件数
1	意欲・熱意	2
2	性格・人柄	6
3	礼儀・マナー・接遇	2
4	健康・体力	2
5	コミュニケーション能力	7
6	グループ活動力	1
7	自ら何事かを成し遂げようとする力	1
8	経営に関する専門知識	0
9	簿記	0
6	パソコンスキル	1
7	語学力(英語・中国語など)	1
8	その他	0

【その他】



VI 本学卒業生をご採用いただいたお立場から、本学の教育について、改善すべきこと、良いと思われることなど、どんなことでもお気づきのことがございましたら、遠慮なくご記入ください。

個人情報等を含む内容のため非公表

令和7年度 就職先からの卒業生に対する評価（卒業生に関するアンケート） 発達科学部（教育・保育等） 集計結果の概要（令和5年度卒業生対象）

依頼数 40（昨年 45）に対し、協力数は 27（昨年 35）で回収率は 67.5%（昨年 77.8%）であった。回答に協力いただいた小学校・幼稚園・保育所等の業種、卒業生の職種・人数・退職者数（6ヵ月以内）についてはⅡ・Ⅲのとおりである。

Ⅳ 令和6年4月にご採用いただいた本学卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想をお伺いします。

Ⅳ-1. 本学の卒業生は全体として、貴校（園・所）の人材ニーズや期待に応えていますか。

「十分応えている」「どちらかといえば応えている」の割合が合わせて 88.9%（昨年 82.8%）、「個人間のばらつきがあり何ともいえない」が 11.1%（昨年 8.6%）であった。「やや応えていない」「応えていない」という回答はなかった。（昨年は「やや応えていない」は 5.7%、「応えていない」という回答はなかった）

昨年度は「十分応えている」「どちらかといえば応えている」の回答の割合が合わせて約 83%で、今年度は約 89%とやや上昇し、「やや応えていない」という回答もなく、引き続き高い評価をいただいた。今後とも教育者としての素養と専門的な知識を備えた人材の育成に尽力していきたい。

Ⅳ-2. 本学の卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として高い」「どちらかといえば高い」の割合が合わせて 74.1%（昨年 62.8%）、「個人間のばらつきがあり何ともいえない」が 22.2%（昨年 25.7%）であった。「どちらかというやや低い」は 3.7%（1件）（昨年 2.9%）であり、「全体として低い」という回答はなかった。（昨年同じ）

昨年度は「全体として高い」「どちらかといえば高い」の評価の割合が合わせて約 74%で、昨年度の約 63%から上昇した。「個人間のばらつきがあり何ともいえない」が約 22%で、昨年度よりやや低下したが、「どちらかというやや低い」は昨年度より約 1%上昇した。教育現場では幾多の壁や困難に遭遇することになるが、失敗経験から学び、教職に対する強い使命と指導についての粘り強さを持ち続け、誰からも信頼される教育者となることができるよう、学生の育成に一層尽力していきたい。

Ⅳ-3. 本学の貴校（園・所）への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。（公立の場合は回答不要）

「全体として熱心」「どちらかといえば熱心」の割合が合わせて 83.4%（昨年 41.1%）、「何ともいえない、わからない」が 16.6%（昨年 47.1%）であった。「あまり熱心でない」「全体として熱心でない」という回答はなかった。（昨年はそれぞれ 5.9%（1件）であった）

昨年度は「全体として熱心」「どちらかといえば熱心」の回答の割合が合わせて約 41%と 5割を切っていたが、今年度は約 83%と高い評価となっている。「何ともいえない、わからない」の回答の割合は昨年度の約 47%から 17%へと低くなり、本学の採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動に肯定的な評価を頂けたと受け止めている。今後も、学部一ゼミ担当教員一キャリア支援課が、幼稚園・保育所・認定こども園が効果的に連携して、個々の学生に照準をあてた丁寧な進路実現を一層推進していく。

Ⅳ-4. 今後、本学の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。（公立の場合は回答不要）

「今後も積極的に求人・採用していきたい」「他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく」の割合が合わせて 83.4%（昨年 76.5%）、「採用は人物本位であり、何ともいえない」が 8.3%（昨年 17.6%）であった。「求人・採用をしていく予定はあまりない」「求人・採用をしていく予定は

全くない」という回答はなく、園児数減少により職員数が充足しているため採用活動の予定はないとの回答が1件あった。(昨年は「求人・採用をしていく予定はあまりない」は5.9% (1件)であり、「求人・採用をしていく予定は全くない」という回答はなかった)

今年度は「今後も積極的に求人・採用していきたい」「他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく」の回答の割合が合わせて約83%で、昨年度の約77%よりも上昇した。教育・保育の現場が本学発達科学部の学生に期待していただいている部分が大きいだけに、今後もこの傾向が継続できるように、教職をめざす学生への指導・育成に学部を挙げて一層尽力していきたい。

V. ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。(公立の場合は回答不要)

「性格・人柄」(11件)、「コミュニケーション能力」(10件)、「意欲・熱意」(9件)の回答が多く見られた。(昨年は「コミュニケーション能力」(15件)、「意欲・熱意」(12件)、「性格・人柄」(10件)の回答が多く見られた)

上位3項目は昨年度と同じで、また企業等においても同じであり、教育者として必須の資質である。学業はもちろんのこと、課外活動や大学生活で様々な経験を積み重ね、多くの人と交流して知見を広げていくとともに、コミュニケーション力を磨き、社会性を身に付け、自己を確立していくことが大切である。

(2) 集計結果 グラフ及びデータ (発達科学部 教育・保育等)

調査対象	令和5年度高松大学 発達科学部 (教育・保育) 卒業生就職先	40件
実施時期	令和7年6月・7月	
調査方法	郵送による質問紙法	
回収率	依頼数	40件
	協力数	27件
回収率		67.5%

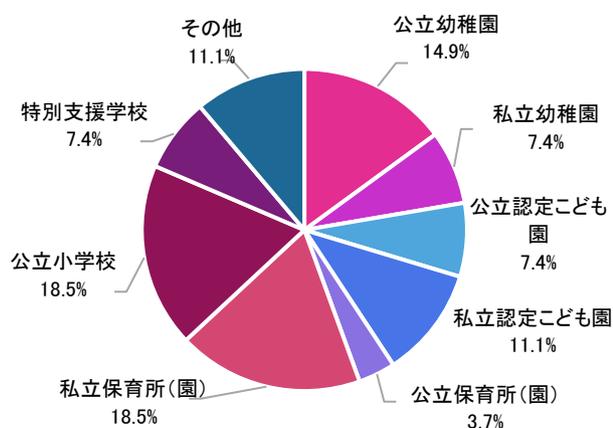
II 貴校(園・所)の区分についてお答えください。

	業 種	件数
1	公立幼稚園	4
2	私立幼稚園	2
3	公立認定こども園	2
4	私立認定こども園	3
5	公立保育所(園)	1
6	私立保育所(園)	5
7	公立小学校	5
8	特別支援学校	2
9	その他	3

【その他】

公立高校、児童発達支援センター、
児童養護施設

I 業種



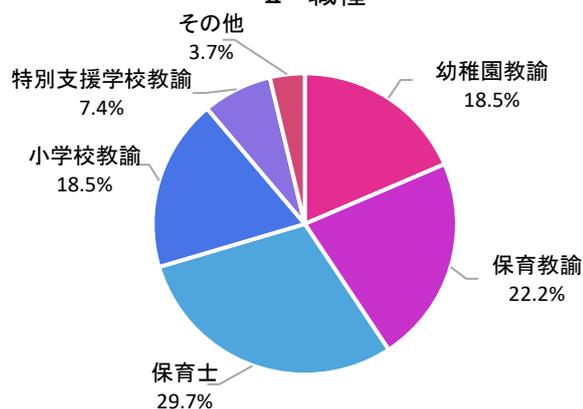
III 令和6年4月にご採用いただいた本学卒業生の職種別の人数についてお答えください。

	職 種	件数	人数	内退職者(6ヵ月以内)
1	幼稚園教諭	5	7	0
2	保育教諭	6	8	0
3	保育士	8	13	0
4	小学校教諭	5	5	0
5	特別支援学校教諭	2	2	0
6	その他	1	1	0

【その他】

期限付実習助手

II 職種

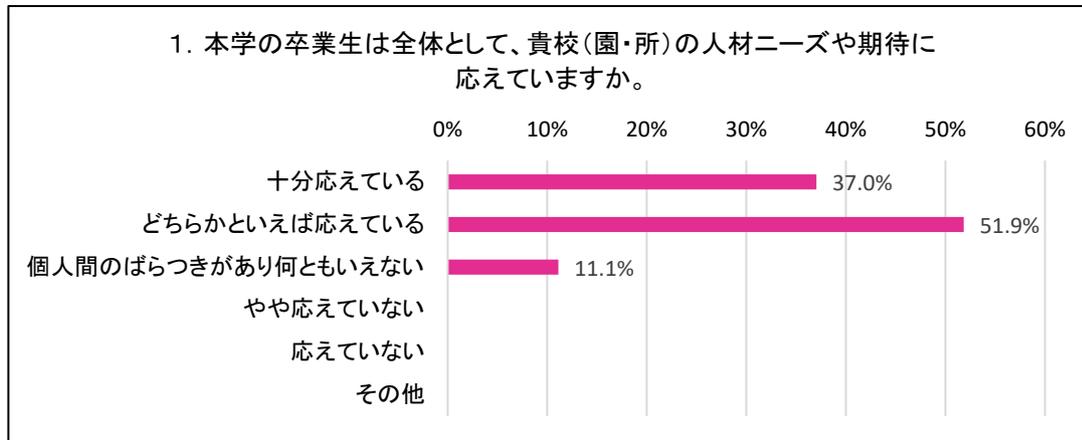


IV 令和6年4月にご採用いただいた本学卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想をお伺いします。

1. 本学の卒業生は全体として、貴校(園・所)の人材ニーズや期待に応えていますか。

	項目	件数
1	十分応えている	10
2	どちらかといえば応えている	14
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	3
4	やや応えていない	0
5	応えていない	0
6	その他	0

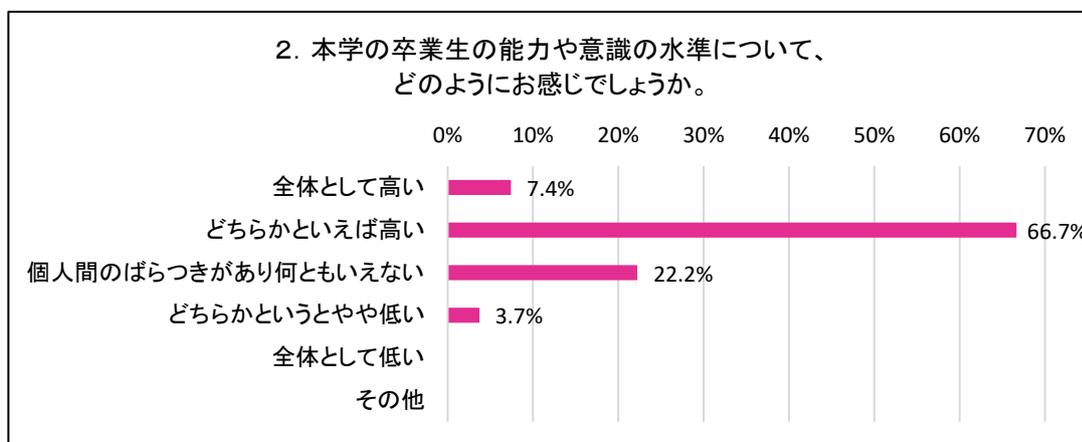
【その他】



2. 本学の卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

	項目	件数
1	全体として高い	2
2	どちらかといえば高い	18
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	6
4	どちらかというとやや低い	1
5	全体として低い	0
6	その他	0

【その他】

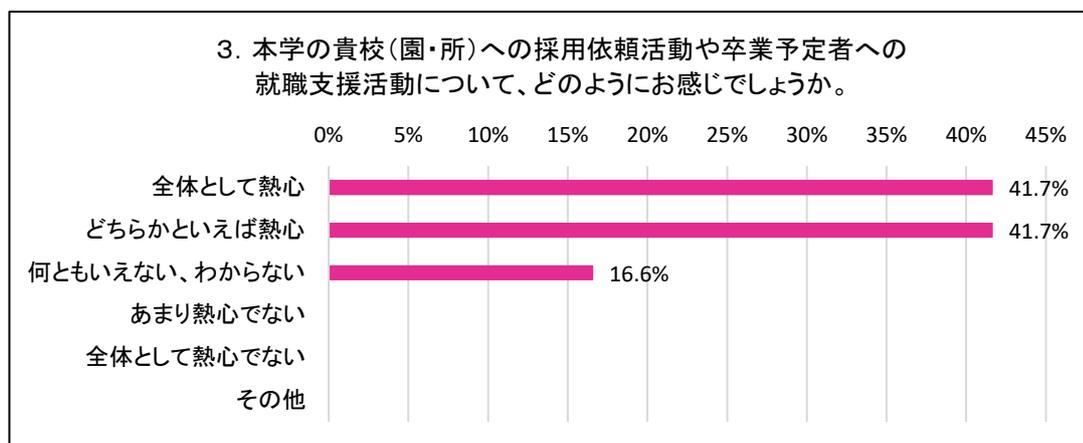


3. 本学の貴校(園・所)への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。

(公立の場合は回答不要)

項目	件数
1 全体として熱心	5
2 どちらかといえば熱心	5
3 何ともいえない、わからない	2
4 あまり熱心でない	0
5 全体として熱心でない	0
6 その他	0

【その他】



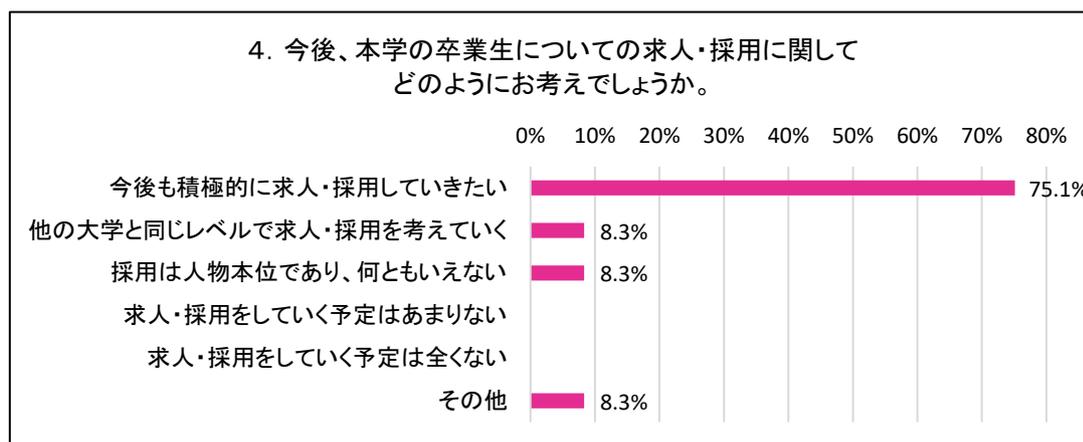
4. 今後、本学の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

(公立の場合は回答不要)

項目	件数
1 今後も積極的に求人・採用していきたい	9
2 他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく	1
3 採用は人物本位であり、何ともいえない	1
4 求人・採用をしていく予定はあまりない	0
5 求人・採用をしていく予定は全くない	0
6 その他	1

【その他】

園児数減少により職員数が足りているため、採用活動は考えていない

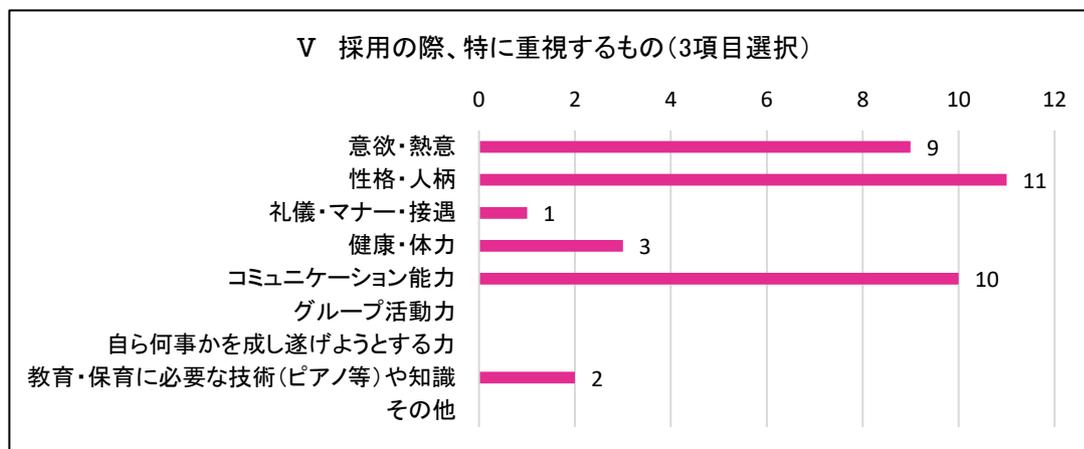


V ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

(公立の場合は回答不要)

	項目	件数
1	意欲・熱意	9
2	性格・人柄	11
3	礼儀・マナー・接遇	1
4	健康・体力	3
5	コミュニケーション能力	10
6	グループ活動力	0
7	自ら何事かを成し遂げようとする力	0
8	教育・保育に必要な技術(ピアノ等)や知識	2
9	その他	0

【その他】



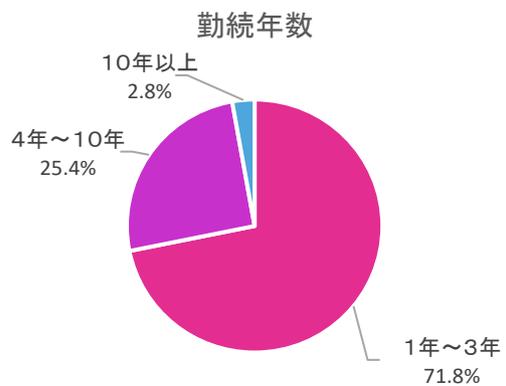
VI 本学卒業生をご採用いただいたお立場から、本学の教育について、改善すべきこと、良いと思われることなど、どんなことでもお気づきのことがございましたら、遠慮なくご記入ください。

個人情報等を含む内容のため非公表

Ⅶ 最後に、貴校(園・所)に在籍している本学の卒業生についてお答えください。
 貴校(園・所)では、現在、本学の卒業生が何名お世話になってますか。また、勤続年数についてもお答えください。

	項目	件数	人数
	卒業生数	33	71

	勤務年数	件数	人数
1	1年～3年	29	51
2	4年～10年	12	18
3	10年以上	2	2
4	20年以上	0	0



令和7年度 就職先からの卒業生に対する評価（卒業生に関するアンケート）
大学院経営学研究科 集計結果の概要（令和5年度卒業生対象）

該当者なし

令和7年度 就職先からの卒業生に対する評価（卒業生に関するアンケート） 保育学科 集計結果の概要（令和5年度卒業生対象）

依頼数 36（昨年 42）に対し、協力数は 25（昨年 31）で回収率は 69.4%（昨年 73.8%）であった。回答に協力いただいた幼稚園・保育所等の業種、卒業生の職種・人数・退職者数（6ヵ月以内）についてはⅡ・Ⅲのとおりである。

Ⅳ 令和6年4月にご採用いただいた本学卒業生の能力および本学の就職支援活動などについて のご感想をお伺いします。

Ⅳ-1. 本学の卒業生は全体として、貴校（園・所）の人材ニーズや期待に応えていますか。

「十分応えている」「どちらかといえば応えている」の割合が合わせて 88.0%（昨年 87.0%）、「個人間のばらつきがあり何ともいえない」が 12.0%（昨年 6.5%）であった。「やや応えていない」「応えていない」という回答はなかった。（昨年は「やや応えていない」は 6.5%、「応えていない」という回答はなかった）

「十分応えている」「どちらかといえば応えている」で 9割近い園から高い評価をいただき、また「やや応えていない」「応えていない」という回答が 0件という結果で、概ね就職先の人材ニーズや期待に応えてくれているようでも有難い評価を得られた。在学中に保育補助ボランティアやアルバイト、実習等で将来を見据えた施設との良好な関係を構築することができた者も見られ、就職するまでのプロセスも大きく影響しているように思われる。

しかし、「個人間のばらつきがあり何ともいえない」という評価を 3件いただいていることが残念である。具体的にお伺いしたいところだが、保育者としてよりも職業人としての未熟さが要因にあるように思われる。積極的に経験を積み重ねていってほしい。

Ⅳ-2. 本学の卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として高い」「どちらかといえば高い」の割合が合わせて 68.0%（昨年 61.3%）、「個人間のばらつきがあり何ともいえない」が 28.0%（昨年 29.0%）であった。「どちらかというとやや低い」は 4.0%（昨年 9.7%）、「全体として低い」という回答はなかった。（昨年同じ）

高いと評価いただいた割合が前年度よりもアップしたことは喜ばしいことである。引き続き高い評価をいただけるよう、より良い指導を追求していきたい。

また、「個人間のばらつきがあり何ともいえない」のみで 3割弱、「どちらかというとやや低い」が 4%となっており、個別対応の充実を図っていくことも重要である。

Ⅳ-3. 本学の貴校（園・所）への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。（公立の場合は回答不要）

「全体として熱心」「どちらかといえば熱心」の割合が合わせて 52.1%（昨年 65.5%）、「何ともいえない、わからない」が 47.9%（昨年 27.6%）であった。「あまり熱心でない」「全体として熱心でない」という回答はなかった。（昨年は「あまり熱心でない」は 6.9%、「全体として熱心でない」という回答はなかった）

「あまり熱心でない」「全体として熱心でない」という回答はなかったが、「全体として熱心」が前年 37.9%から 21.7%に大幅にダウンしている。「どちらかといえば熱心」は微増ではあるが、「何ともいえない、わからない」が前年度 27.6%から 47.9%と大幅アップとなっている。採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動が十分に行われていないことの表れと言わざるを得ない。

近年、学生の就職志望の有無も変化し、難しくなっているが、年間を通しての保育職就職への意識付けを行い、積極的な就職支援活動を進めていきたい。また、就職希望施設とのミスマッチを防ぐためにも、保育学科で行われている探究活動の時間等を利用して、保育補助ボランティア・アルバイトや施設見学をすることで、就職希望施設との事前の繋がりを得る機会について働きかけていきたい。

IV-4. 今後、本学の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。（公立の場合は回答不要）

「今後も積極的に求人・採用していきたい」「他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく」の割合が合わせて82.6%（昨年86.3%）、「採用は人物本位であり、何ともいえない」は17.4%（昨年10.3%）であった。「求人・採用をしていく予定はあまりない」「求人・採用をしていく予定は全くない」という回答はなかった。（昨年は「求人・採用をしていく予定はあまりない」は3.4%（1件）、「求人・採用をしていく予定は全くない」という回答はなかった）

「求人・採用をしていく予定はあまりない」、「求人・採用をしていく予定は全くない」という回答は0件であったものの、「今後も積極的に求人・採用していきたい」は、昨年の65.6%から60.9%にダウンしていることが気になる。引き続き、将来を見据えた施設との良好な関係を構築できるように保育学科での指導を充実させていきたい。

V. ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。（公立の場合は回答不要）

「性格・人柄」（20件）、「意欲・熱意」（16件）、「コミュニケーション能力」（13件）の回答が多く見られた。（昨年は「意欲・熱意」（23件）、「性格・人柄」（23件）、「コミュニケーション能力」（19件）、「礼儀・マナー」（12件）の回答が多く見られた）

上位3項目「性格・人柄」、「意欲・熱意」、「コミュニケーション能力」は、件数に微妙な変動はあるものの、保育者というよりも基本的な職業人としての資質を重視していることの表れである。

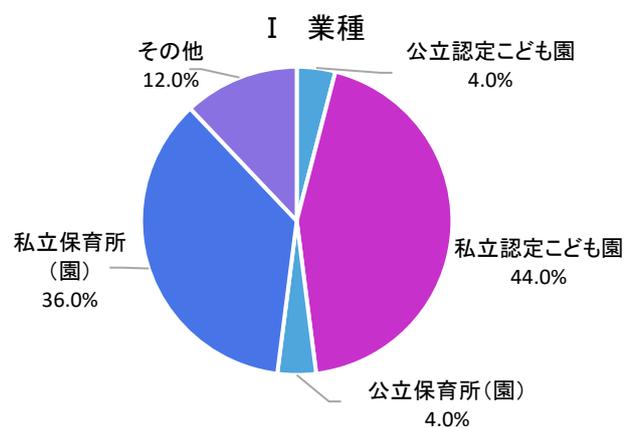
自由記述欄の中で、「自分の置かれている立場を考えて、誰にでも平等に感謝の気持ちを持つことを、就職前に再度お知らせいただくとありがたいです。」という気になる記述があった。もう少し詳しくお話を伺いたいところではあるが、そのことも含め、前年度から保育学科では、発達科学部と合同で「保育実習交流会」を開催し、また、保育学科独自で「卒業生フォローアップ」を開催した。それらの保育実習協力園の先生方と本学との情報交換の場、今春卒業や1年を過ぎた卒業生を集めた意見交換の場を活用してサポートし、より良い人材育成の向上を図っていきたい。そして就職後の定着率アップにも繋げていきたい。

(2) 集計結果 グラフ及びデータ (保育学科)

調査対象	令和5年度高松短期大学保育学科卒業生就職先		36件
実施時期	令和7年6月・7月		
調査方法	郵送による質問紙法		
回収率	依頼数	36件	
	協力数	25件	
回収率		69.4%	

II 貴校(園・所)の区分についてお答えください。

	業種	件数
1	公立幼稚園	0
2	私立幼稚園	0
3	公立認定こども園	1
4	私立認定こども園	11
5	公立保育所(園)	1
6	私立保育所(園)	9
9	その他	3



【その他】

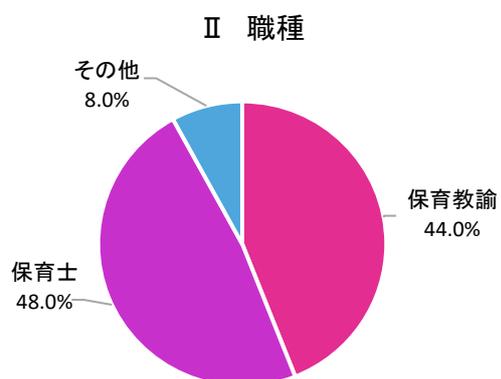
児童養護施設、障がい者サービス事業所
サービス(子ども向けリゾート施設)

III 令和6年4月にご採用いただいた本学卒業生の職種別の人数についてお答えください。

	職種	件数	人数	内退職者(6ヵ月以内)
1	幼稚園教諭	0	0	0
2	保育教諭	11	15	0
3	保育士	12	16	0
6	その他	2	3	0

【その他】

生活支援員(2)
サービス

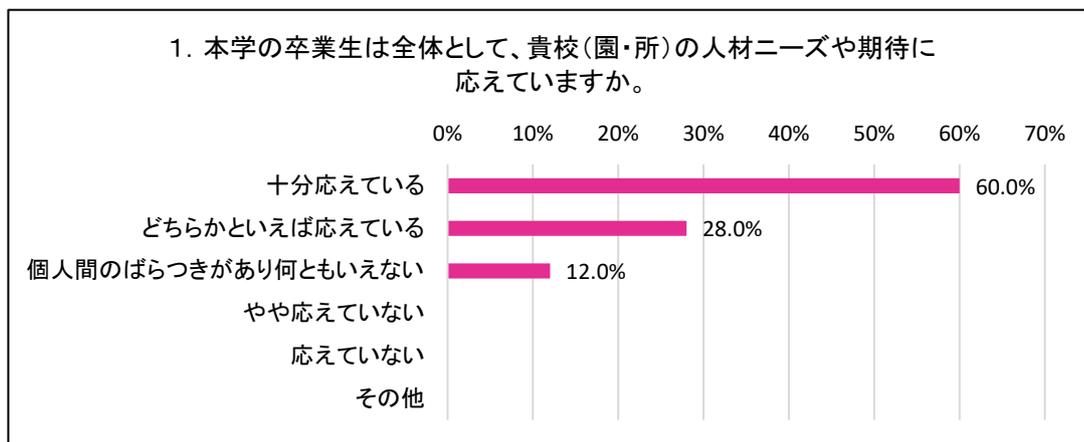


IV 令和6年4月にご採用いただいた本学卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想をお伺いします。

1. 本学の卒業生は全体として、貴校(園・所)の人材ニーズや期待に応えていますか。

	項目	件数
1	十分応えている	15
2	どちらかといえば応えている	7
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	3
4	やや応えていない	0
5	応えていない	0
6	その他	0

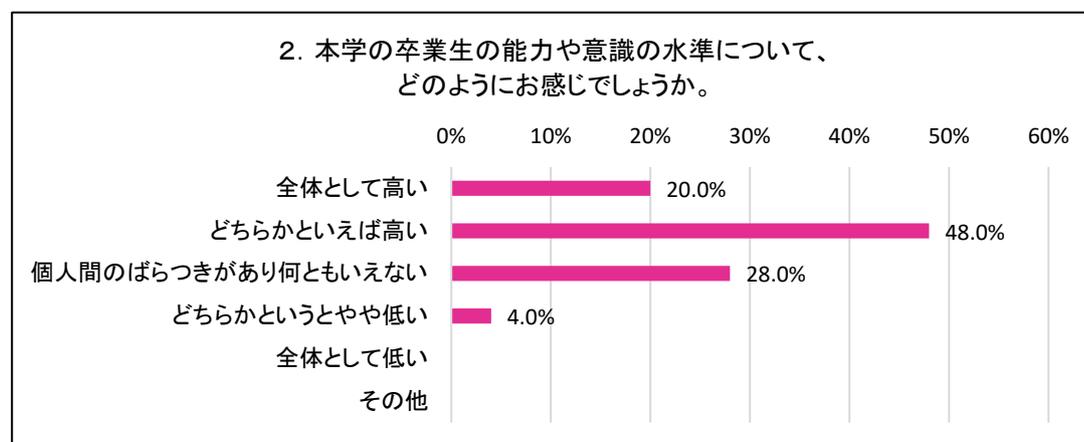
【その他】



2. 本学の卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

	項目	件数
1	全体として高い	5
2	どちらかといえば高い	12
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	7
4	どちらかというやや低い	1
5	全体として低い	0
6	その他	0

【その他】

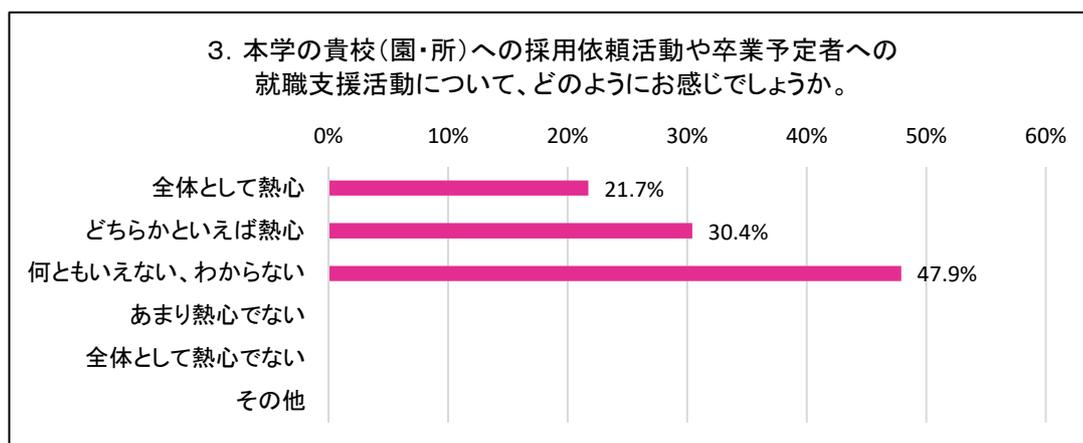


3. 本学の貴校(園・所)への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。

(公立の場合は回答不要)

項目	件数
1 全体として熱心	5
2 どちらかといえば熱心	7
3 何ともいえない、わからない	11
4 あまり熱心でない	0
5 全体として熱心でない	0
6 その他	0

【その他】

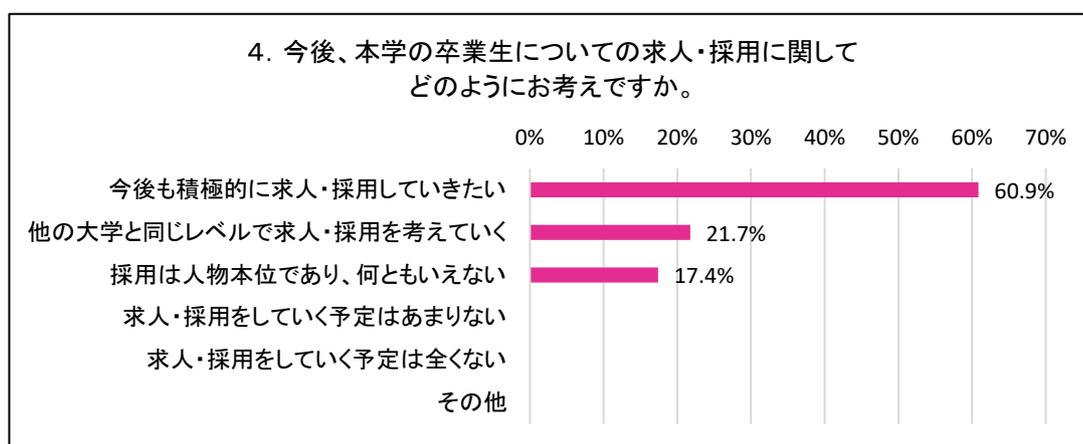


4. 今後、本学の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

(公立の場合は回答不要)

項目	件数
1 今後も積極的に求人・採用していきたい	14
2 他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく	5
3 採用は人物本位であり、何ともいえない	4
4 求人・採用をしていく予定はあまりない	0
5 求人・採用をしていく予定は全くない	0
6 その他	0

【その他】

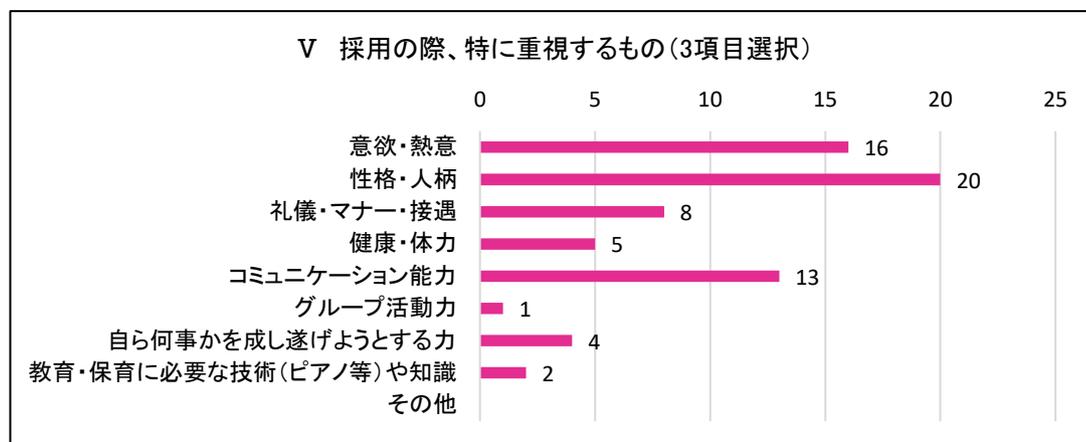


V ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

(公立の場合は回答不要)

	項 目	件数
1	意欲・熱意	16
2	性格・人柄	20
3	礼儀・マナー・接遇	8
4	健康・体力	5
5	コミュニケーション能力	13
6	グループ活動力	1
7	自ら何事かを成し遂げようとする力	4
8	教育・保育に必要な技術(ピアノ等)や知識	2
9	その他	0

【その他】



VI 本学卒業生をご採用いただいたお立場から、本学の教育について、改善すべきこと、良いと思われることなど、どんなことでもお気づきのことがございましたら、遠慮なくご記入ください。

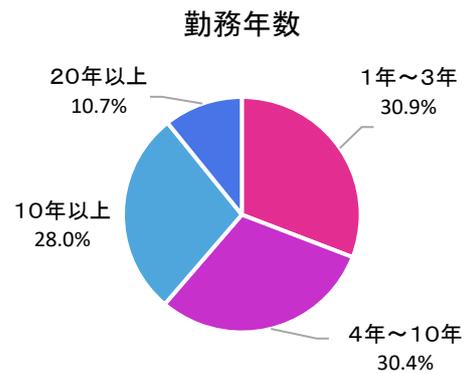
個人情報等を含む内容のため非公表

Ⅶ 最後に、貴校(園・所)に在籍している本学の卒業生についてお答えください。

貴校(園・所)では、現在、本学の卒業生が何名お世話になっていますか。また、勤続年数についてもお答えください。

	項 目	件数	人数
	卒業生数	32	214

	勤務年数	件数	人数
1	1年～3年	28	66
2	4年～10年	23	65
3	10年以上	18	60
4	20年以上	12	23



令和7年度 就職先からの卒業生に対する評価（卒業生に関するアンケート） 秘書科 集計結果の概要（令和5年度卒業生対象）

依頼数 31（昨年 49）に対し、協力数は 19（昨年 30）で回収率は 61.3%（昨年 61.2%）であった。回答に協力いただいた企業・病院の業種、卒業生の職種・人数・退職者数（6ヵ月以内）についてはⅡ・Ⅲのとおりである。

Ⅳ 令和6年4月にご採用いただいた本学卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想をお伺いします。

Ⅳ-1. 本学の卒業生は全体として、貴社・貴院の人材ニーズや期待に応えていますか。

「十分応えている」「どちらかといえば応えている」の割合が合わせて 84.2%（昨年 66.6%）、「個人間のばらつきがあり何ともいえない」が 10.5%（昨年 26.7%）であった。「やや応えていない」という回答はなく、「応えていない」は 5.3%だった。（昨年は「やや応えていない」は 6.7%、「応えていない」という回答はなかった）

上記の結果から、多くの企業・病院で、学科の教育がある程度は活かされていると考えられる。特に、柔軟な対応能力、電話対応能力、コミュニケーション能力、レセプト能力等のプラス評価の意見がみられる。しかし、一部の学生で見られる否定的な評価のコメントには「自分への自信が不足」「時間内に仕事を終えるタスクトレーニングの教育が必要」等の記述があった。

なお、人材ニーズの期待に応えられているかは、個人の能力に依存していることが多く、教えることが最も難しい内容でもあるが、対応していきたい。

Ⅳ-2. 本学の卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として高い」「どちらかといえば高い」の割合が合わせて 73.6%（昨年 56.6%）、「個人間のばらつきがあり何ともいえない」が 21.1%（昨年 36.7%）であった。「どちらかというやや低い」「全体として低い」という回答はなかった。（昨年は「どちらかというやや低い」は 6.7%、「全体として低い」という回答はなかった）

上記の結果から、この設問の評価は個人差があり難しいと考えられる。医療機関からのコメントには「大学での授業がより実践に近いものなんだろう」とのプラス評価の記述がみられた。

しかし、一部の早期離職者に対するマイナスコメントに対応する必要があると、学生の自由におくのではなく、マナー・接遇教育の必要性があり、常識的な社会対応能力が必要だと感じ取れる。

Ⅳ-3. 本学の企業様への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として熱心」「どちらかといえば熱心」の割合は合わせて 73.7%（昨年 66.7%）、「何ともいえない、わからない」が 26.3%（昨年 30.0%）であった。「あまり熱心でない」「全体として熱心でない」という回答はなかった。（昨年同じ）

上記の結果から、一部の企業と医療機関からここ数年高い評価が続いているのはキャリア支援課の努力や、実習との連携、担当教員が病院・企業訪問を続けた結果であると考えられる。今後も企業、医療機関と連携を強化していきたいと考えている。

Ⅳ-4. 今後、本学の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

「今後も積極的に求人・採用していきたい」「他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく」の割合が合わせて 73.7%（昨年 83.4%）、「採用は人物本位であり、何ともいえない」が 26.3%（昨年 13.3%）であった。「求人・採用をしていく予定はあまりない」「求人・採用をしていく予定は全くない」という回答はなかった。（昨年は「求人・採用をしていく予定はあまりない」は 3.3%（1件）、「求人・採用をしていく予定は全くない」という回答はなかった）

上記の結果から、「今後も積極的に求人・採用していきたい」と考えていただいている企業・病院の割合（57.8%）が一番多いのはとても良いことである。今後とも、企業・医療機関と連携を強化していきたい。

V. ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

「性格・人柄」（15件）、「意欲・熱意」（13件）、「礼儀・マナー・接遇」（11件）「コミュニケーション能力」（9件）の回答が多く見られた。（昨年は「性格・人柄」（23件）、「コミュニケーション能力」（22件）、「意欲・熱意」（20件）の回答が多く見られた）

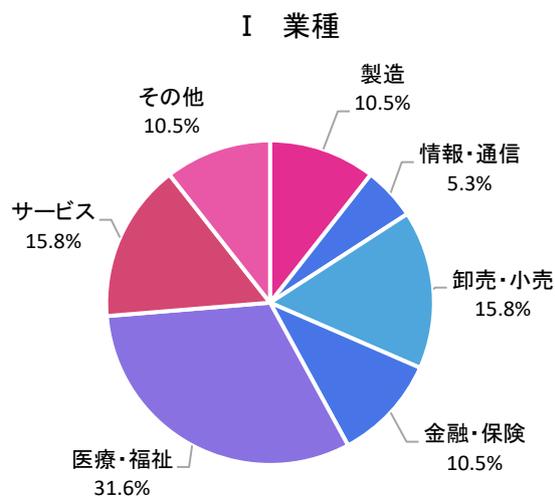
上記の項目は、順番が入れ替わることはあるが、毎年挙げられている事であり、学科の最重要教育課題として取り組んでいる事でもある。今回は「礼儀・マナー・接遇」も上位に重視されており、近年、特に必要性を感じ取れる。今後も学科の教育をベースとして、これらの能力に秀でた人材を社会に送り出せるように努めたい。

(2) 集計結果 グラフ及びデータ (秘書科)

調査対象	令和5年度高松短期大学秘書科卒業生就職先		31件
実施時期	令和7年6月・7月		
調査方法	郵送による質問紙法		
回収率	依頼数	31件	
	協力数	19件	
回収率		61.3%	

II 貴社・貴院の業種についてお答えください。

	業 種	件数
1	建設	0
2	製造	2
3	電気・ガス・水道	0
4	情報・通信	1
5	運輸	0
6	卸売・小売	3
7	金融・保険	2
8	不動産	0
9	飲食・宿泊	0
10	医療・福祉	6
11	サービス	3
12	官公庁	0
13	その他	2

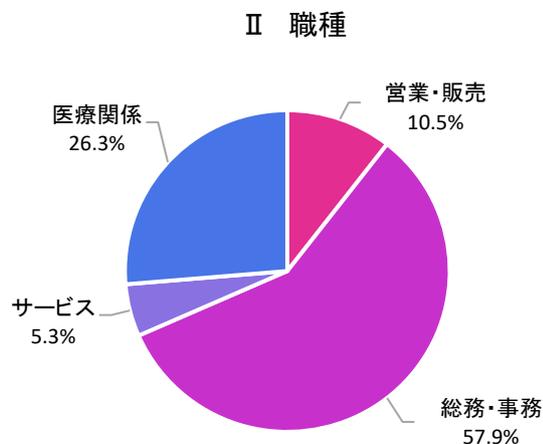


【その他】建設コンサルタント、税理士事務所

III 令和6年4月にご採用いただいた本学卒業生の職種別の人数についてお答えください。

	職 種	件数	人数	内退職者(6ヵ月以内)
1	営業・販売	2	4	0
2	総務・事務	11	12	3
3	製造・作業スタッフ	0	0	0
4	通訳・貿易	0	0	0
5	サービス	1	1	0
6	公務	0	0	0
7	医療関係	5	5	0
8	その他	0	0	0

【その他】

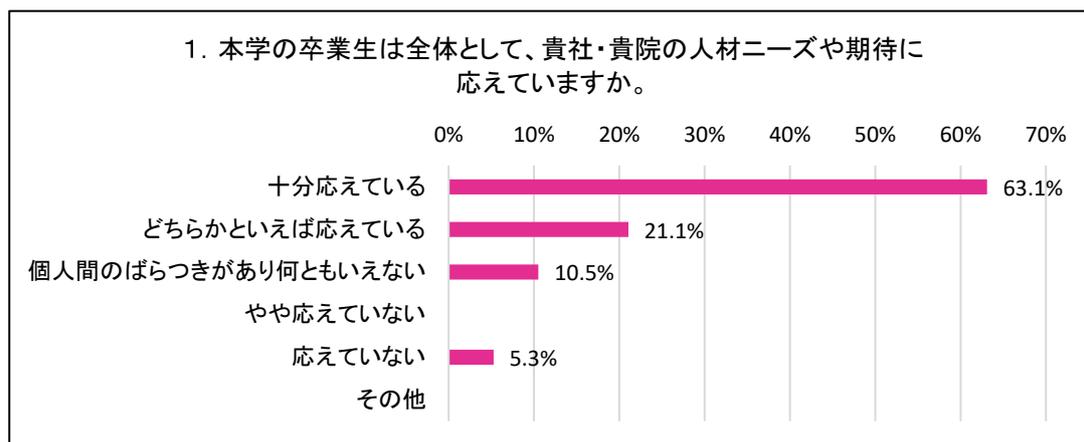


IV 令和6年4月にご採用いただいた本学卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想をお伺いします。

1. 本学の卒業生は全体として、貴社・貴院の人材ニーズや期待に応えていますか。

	項目	件数
1	十分応えている	12
2	どちらかといえば応えている	4
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	2
4	やや応えていない	0
5	応えていない	1
6	その他	0

【その他】

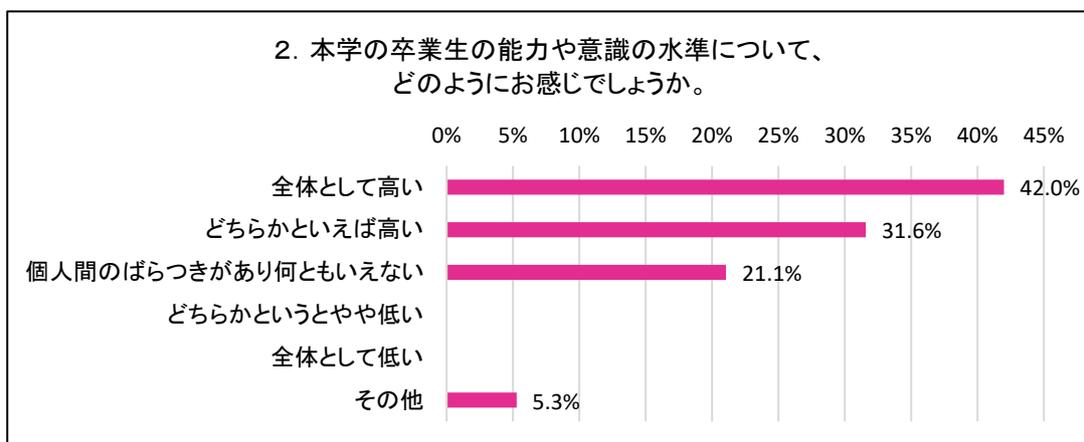


2. 本学の卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

	項目	件数
1	全体として高い	8
2	どちらかといえば高い	6
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	4
4	どちらかというやや低い	0
5	全体として低い	0
6	その他	1

【その他】

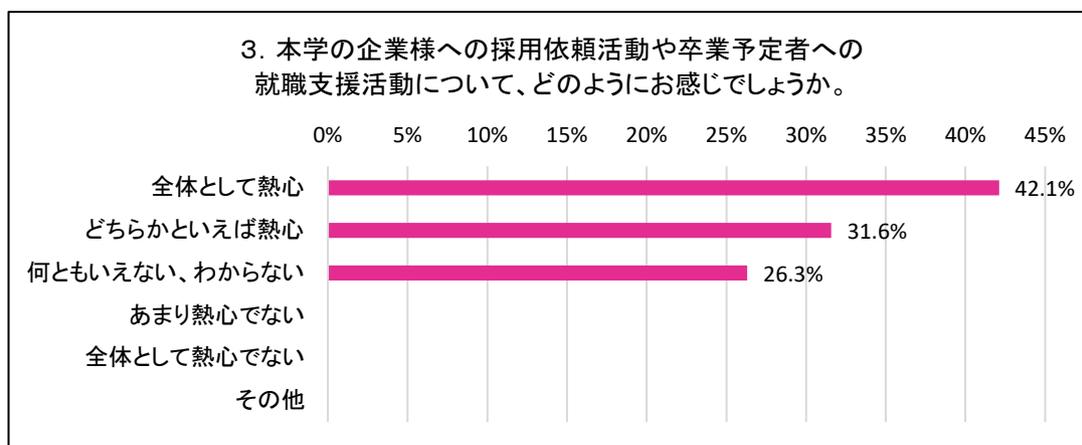
未記入



3. 本学の企業様への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。

	項目	件数
1	全体として熱心	8
2	どちらかといえば熱心	6
3	何ともいえない、わからない	5
4	あまり熱心でない	0
5	全体として熱心でない	0
6	その他	0

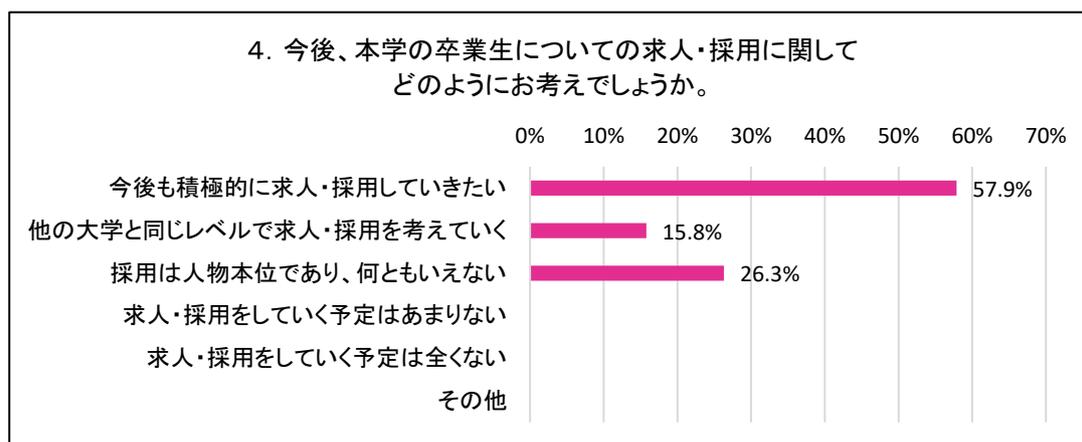
【その他】



4. 今後、本学の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

	項目	件数
1	今後も積極的に求人・採用していきたい	11
2	他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく	3
3	採用は人物本位であり、何ともいえない	5
4	求人・採用をしていく予定はあまりない	0
5	求人・採用をしていく予定は全くない	0
6	その他	0

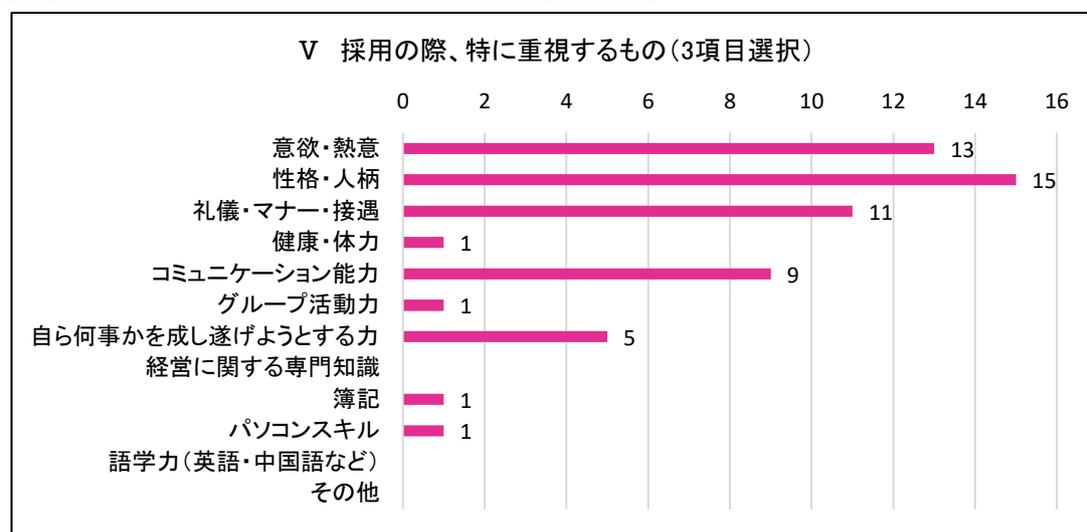
【その他】



V ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

	項目	件数
1	意欲・熱意	13
2	性格・人柄	15
3	礼儀・マナー・接遇	11
4	健康・体力	1
5	コミュニケーション能力	9
6	グループ活動力	1
7	自ら何事かを成し遂げようとする力	5
8	経営に関する専門知識	0
9	簿記	1
10	パソコンスキル	1
11	語学力(英語・中国語など)	0
12	その他	0

【その他】



VI 本学卒業生をご採用いただいたお立場から、本学の教育について、改善すべきこと、良いと思われることなど、どんなことでもお気づきのことがございましたら、遠慮なくご記入ください。

個人情報等を含む内容のため非公表

回答方法：①本学ホームページ(トップページ)＞インフォメーション【(就職先対象)卒業生に関するアンケート】より回答)

②FAX. 087-841-7158(高松大学キャリア支援課) *送付状は不要です

締 切：令和7年7月18日(金)

高松大学・高松短期大学 卒業生に関するアンケート(企業等)

I 令和6年4月にご採用いただいた本学卒業生の学部・学科別の人数についてお答えください。

また、そのうち既に退職した者がいましたら、その人数と時期をお答えください。

- 1) 高松大学 経営学部 _____名(うち退職 _____名：退職時期 _____年 _____月)
- 2) 高松大学 発達科学部 _____名(うち退職 _____名：退職時期 _____年 _____月)
- 3) 高松大学 大学院経営学専攻 _____名(うち退職 _____名：退職時期 _____年 _____月)
- 4) 高松短期大学 保育学科 _____名(うち退職 _____名：退職時期 _____年 _____月)
- 5) 高松短期大学 秘書科 _____名(うち退職 _____名：退職時期 _____年 _____月)

II 貴社・貴院の業種についてお答えください。

- 1)建設 2)製造 3)電気・ガス・水道 4)情報・通信 5)運輸 6)卸売・小売 7)金融・保険
- 8)不動産 9)飲食・宿泊 10)医療・福祉 11)サービス 12)官公庁 13)その他(_____)

III 令和6年4月にご採用いただいた本学卒業生の職種別の人数についてお答えください。

- 1)営業・販売 _____名 2)総務・事務 _____名 3)製造・作業スタッフ _____名 4)通訳・貿易 _____名
- 5)サービス _____名 6)公務 _____名 7)医療関係 _____名 8)その他(_____)

IV 令和6年4月にご採用いただいた本学卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想をお伺いします。該当する番号を1つお選びください。

1. 本学の卒業生は全体として、貴社・貴院の人材ニーズや期待にえていますか。

- 1)十分応えている 2)どちらかといえば応えている 3)個人間のばらつきがあり何ともいえない
- 4)やや応えていない 5)応えていない 6)その他(_____)

2. 本学の卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

- 1)全体として高い 2)どちらかといえば高い 3)個人間のばらつきがあり何ともいえない
- 4)どちらかというやや低い 5)全体として低い 6)その他(_____)

3. 本学の企業様への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。

- 1)全体として熱心 2)どちらかといえば熱心 3)何ともいえない、わからない
- 4)あまり熱心でない 5)全体として熱心でない 6)その他(_____)

4. 今後、本学の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

- 1)今後も積極的に求人・採用していきたい 2)他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく
- 3)採用は人物本位であり、何ともいえない 4)求人・採用をしていく予定はあまりない
- 5)求人・採用をしていく予定は全くない 6)その他(_____)

V ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

- 1)意欲・熱意 2)性格・人柄 3)礼儀・マナー・接遇 4)健康・体力 5)コミュニケーション能力
- 6)グループ活動力 7)自ら何事かを成し遂げようとする力 8)経営に関する専門知識 9)簿記
- 10)パソコンスキル 11)語学力(英語・中国語など) 12)その他(_____)

VI 本学卒業生をご採用いただいたお立場から、本学の教育について、改善すべきこと、良いと思われることなど、どんなことでもお気づきのことがございましたら、遠慮なくご記入ください。

.....

.....

.....

◆貴社・貴院名

回答された方の部署名・役職名

ご芳名

質問は以上です。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

回答方法：①本学ホームページ（トップページ）> インフォメーション【(就職先対象) 卒業生に関するアンケート】より回答

②FAX. 087-841-7158(高松大学キャリア支援課) *送付状は不要です

締 切：令和7年7月18日(金)

高松大学・高松短期大学 卒業生に関するアンケート(教育・保育等)

- I 令和6年4月にご採用いただいた本学卒業生の学部・学科別の人数についてお答えください。
また、そのうち既に退職した者がいましたら、その人数と時期をお答えください。
- 1) 高松大学 発達科学部 _____名 (うち退職 _____名：退職時期 _____年 _____月)
- 2) 高松短期大学 保育学科 _____名 (うち退職 _____名：退職時期 _____年 _____月)
- II 貴校(園・所)の業種についてお答えください。
- 1) 公立幼稚園 2) 私立幼稚園 3) 公立認定こども園 4) 私立認定こども園 5) 公立保育所(園)
6) 私立保育所(園) 7) 公立小学校 8) 特別支援学校 9) その他 (_____)
- III 令和6年4月にご採用いただいた本学卒業生の職種別の人数についてお答えください。
- 1) 幼稚園教諭 _____名 2) 保育教諭 _____名 3) 保育士 _____名 4) 小学校教諭 _____名
5) 特別支援校教諭 _____名 6) その他(_____) _____名
- IV 令和6年4月にご採用いただいた本学卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想をお伺いします。該当する番号を1つお選びください。
1. 本学の卒業生は全体として、貴校(園・所)の人材ニーズや期待にえていますか。
- 1) 十分応えている 2) どちらかといえば応えている 3) 個人間のばらつきがあり何ともいえない
4) やや応えていない 5) 応えていない 6) その他 (_____)
2. 本学の卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。
- 1) 全体として高い 2) どちらかといえば高い 3) 個人間のばらつきがあり何ともいえない
4) どちらかというやや低い 5) 全体として低い 6) その他 (_____)
3. 本学の貴校(園・所)への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。
(公立の場合は回答の必要はありません)
- 1) 全体として熱心 2) どちらかといえば熱心 3) 何ともいえない、わからない
4) あまり熱心でない 5) 全体として熱心でない 6) その他 (_____)
4. 今後、本学の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。
(公立の場合は回答の必要はありません)
- 1) 今後も積極的に求人・採用していきたい 2) 他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく
3) 採用は人物本位であり、何ともいえない 4) 求人・採用をしていく予定はあまりない
5) 求人・採用をしていく予定は全くない 6) その他 (_____)
- V ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。(公立の場合は回答の必要はありません)
- 1) 意欲・熱意 2) 性格・人柄 3) 礼儀・マナー・接遇 4) 健康・体力 5) コミュニケーション能力
6) グループ活動力 7) 自ら何事かを成し遂げようとする力 8) 教育・保育に必要な技術(ピアノ等)や知識
9) その他 (_____)
- VI 本学卒業生をご採用いただいたお立場から、本学の教育について、改善すべきこと、良いと思われることなど、どんなことでもお気づきのことがございましたら、遠慮なくご記入ください。
-
-

- VII 最後に、貴校(園・所)に在籍している本学の卒業生についてお答えください。
貴校(園・所)では、現在、本学の卒業生が何名お世話になっていますか。また、勤続年数についてもお答えください。
- ◇高松大学 発達科学部 卒業生 _____名
勤続年数： 1) 1年～3年 _____名 2) 4年～10年 _____名 3) 10年以上 _____名 4) 20年以上 _____名
- ◇高松短期大学 保育学科 (幼児教育学科・児童教育学科) 卒業生 _____名
勤続年数： 1) 1年～3年 _____名 2) 4年～10年 _____名 3) 10年以上 _____名 4) 20年以上 _____名

◆貴校(園・所)名

回答された方の部署名・役職名

ご芳名

質問は以上です。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

令和7年度「就職先からの卒業生に対する評価（卒業生
に関するアンケート）」集計結果報告書
（令和5年度卒業生対象）

発行日 令和7年9月30日

編集 高松大学・高松短期大学 学生委員会

発行 高松大学・高松短期大学

〒761-0194

香川県高松市春日町960番地

TEL 087-841-3255（代表）

FAX 087-841-3064